

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 30日

栃木県知事
福田 富一 様

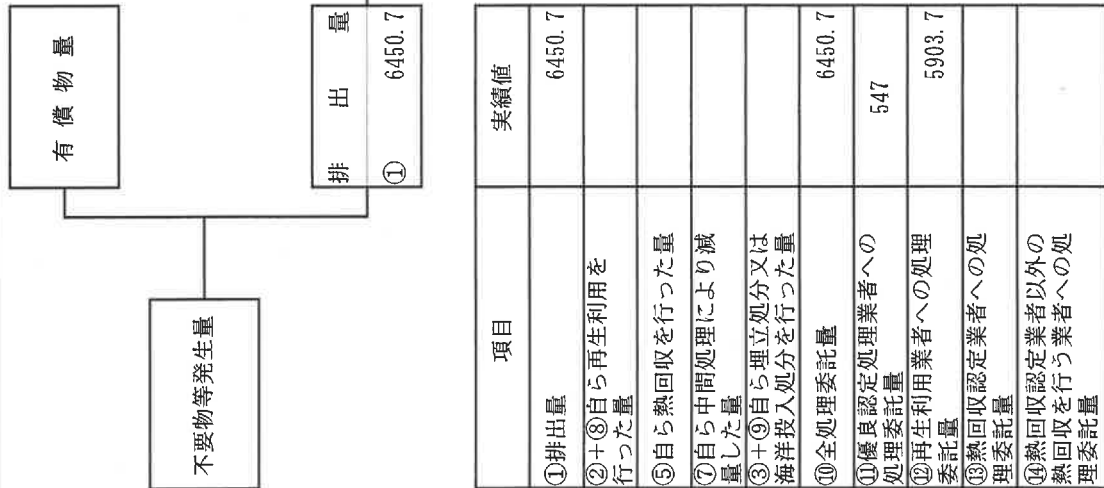
提出者
住 所 栃木県宇都宮市松原1丁目2-9
氏 名 大林道路株式会社栃木営業所
所長 小杉 英信
電話番号 028-650-5007

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大林道路株式会社 栃木営業所		
事業場の所在地	栃木県宇都宮市松原1丁目2-9		
事業の種類	建設業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	16,124 t	全処理委託量	16,124 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	5,522 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	10,602 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がいき類)



⑩のうち再生利用業者への処理委託量	5903.7
⑫	

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
⑬	

⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	
⑭	

自ら中間処理した後再生利用した量	⑧
------------------	---

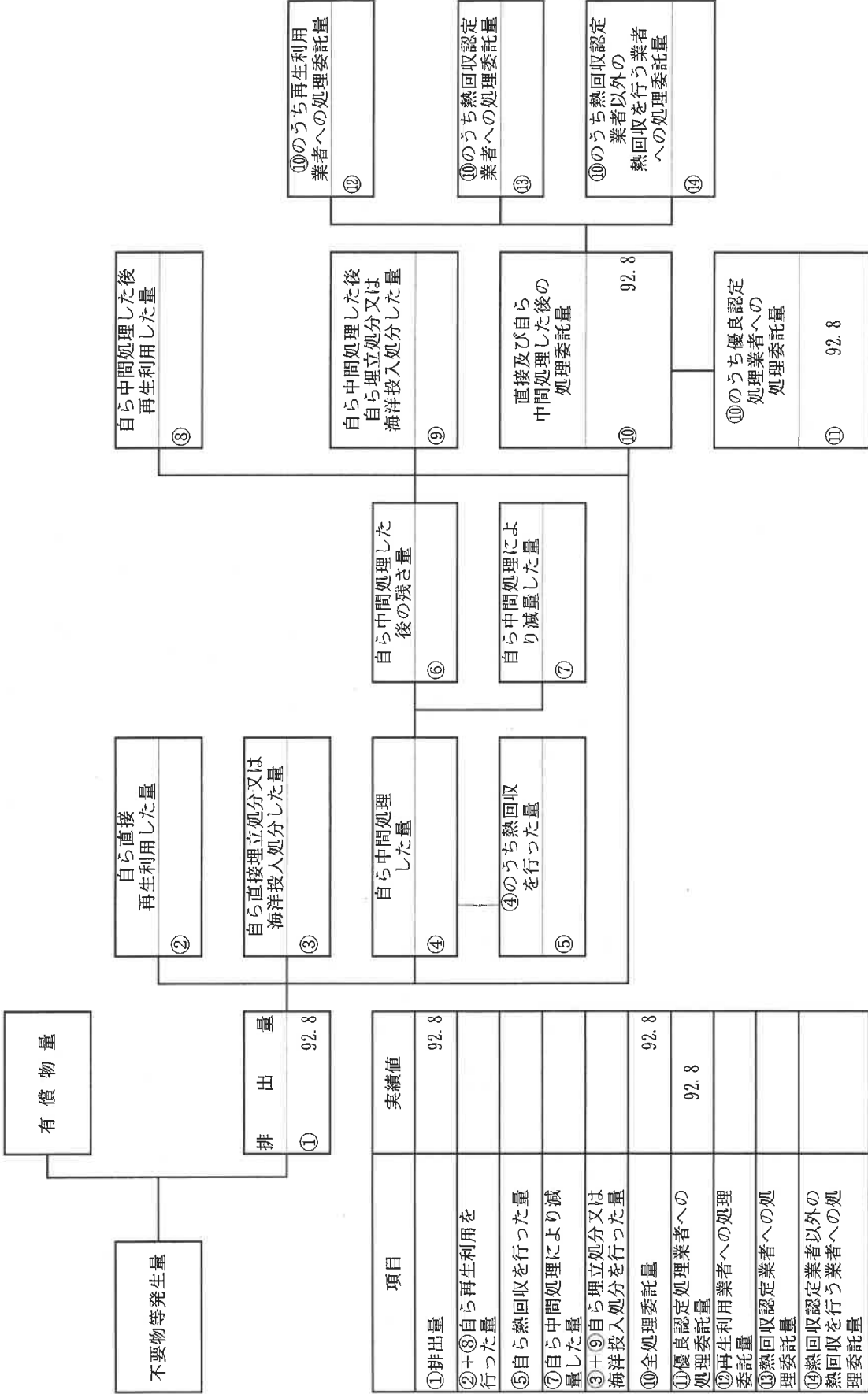
自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨
----------------------------	---

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩ 6450.7
---------------------	----------

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪ 547
---------------------	-------

項目	実績値
①排出量	6450.7
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	6450.7
⑩優良認定処理業者への処理委託量	547
⑩再生利用業者への処理委託量	5903.7
⑩熱回収認定業者への処理委託量	
⑩熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	

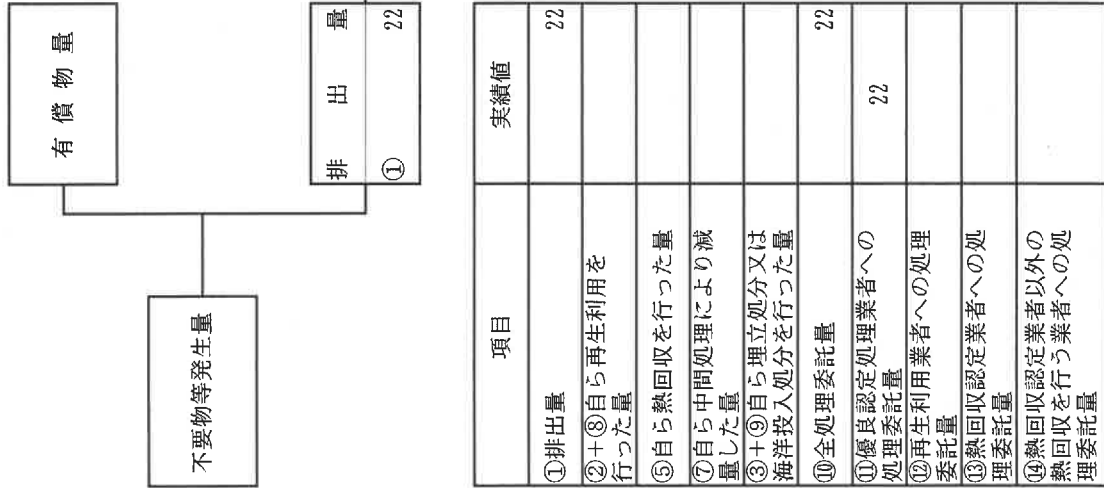
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)



項目	実績値
①排出量	92.8
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	92.8
①優良認定処理業者への処理委託量	92.8
②再生利用業者への処理委託量	
③熱回収認定業者への処理委託量	
④熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

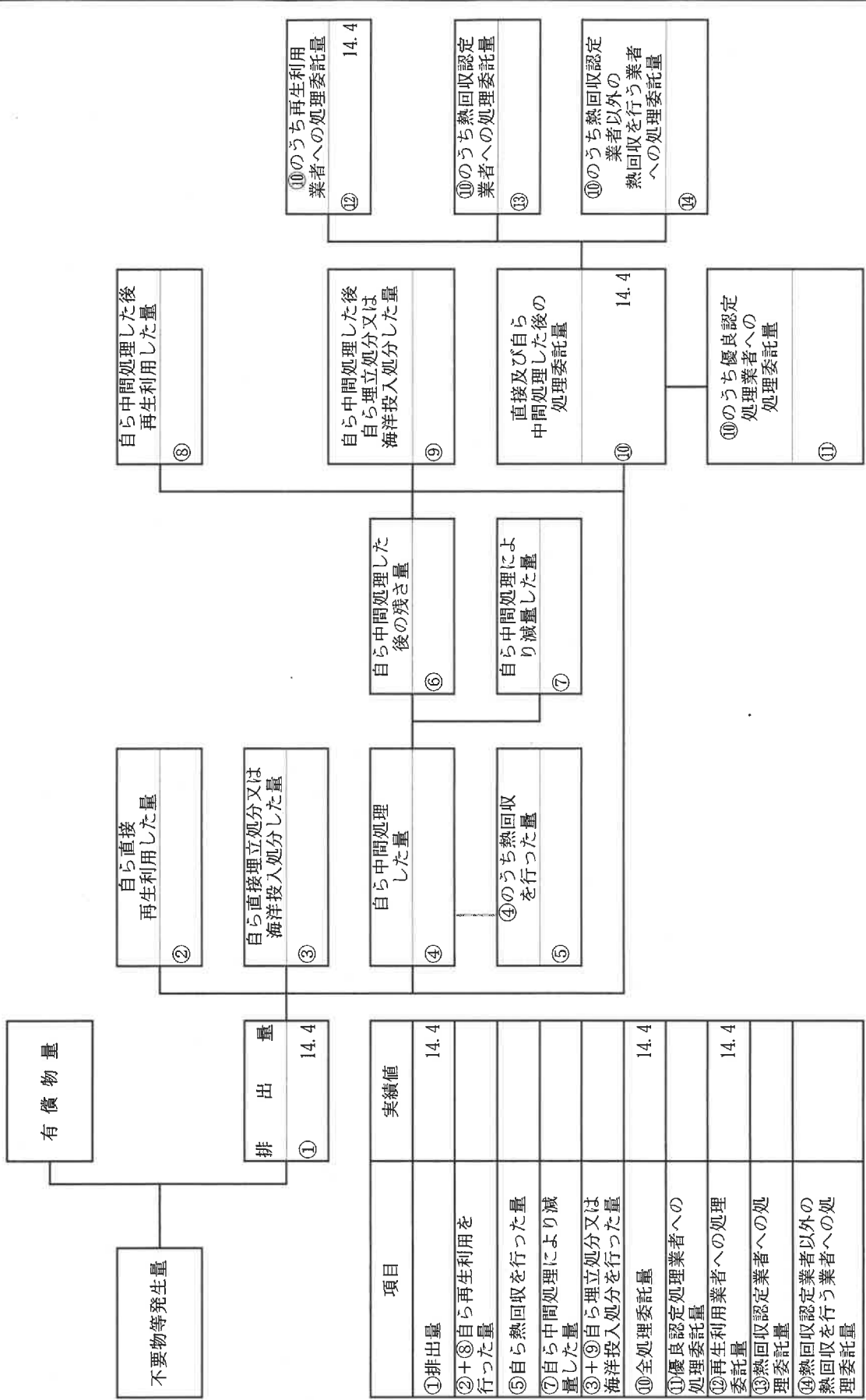
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 建設混合廃棄物 (安定型))



項目	実績値
①排出量	22
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	22
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	

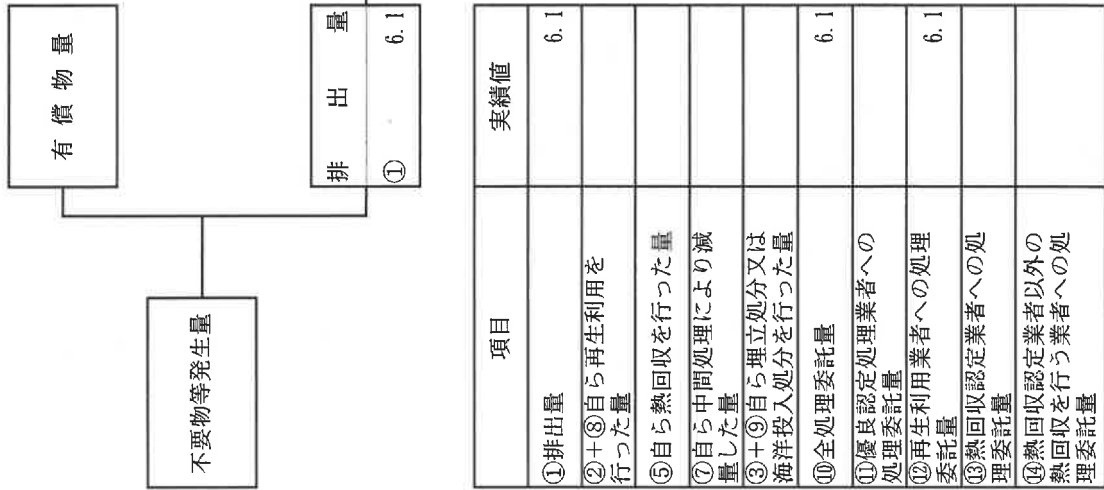
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 木くず)



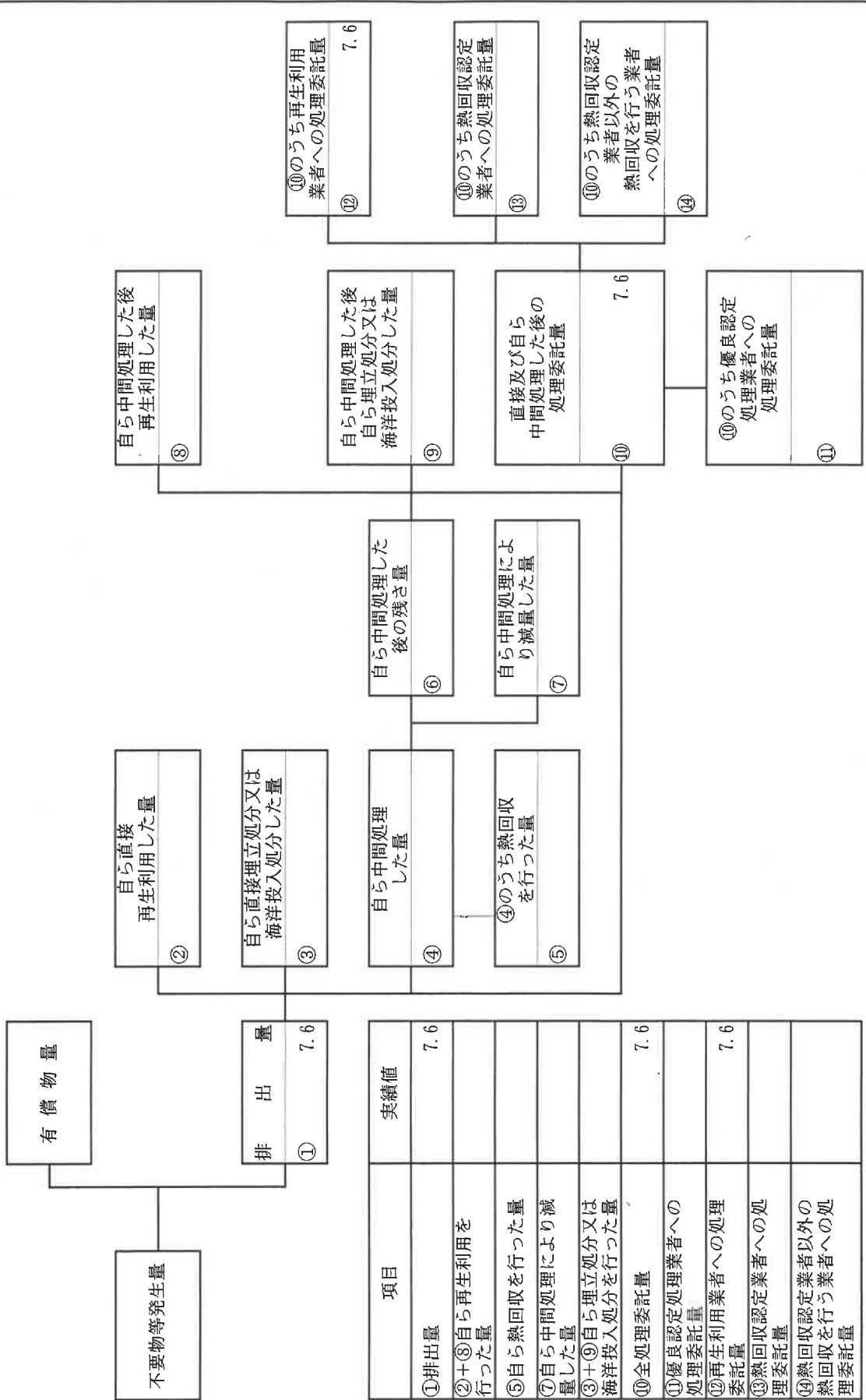
項目	実績値
①排出量	14.4
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	14.4
①優良認定処理業者への処理委託量	
②再生利用業者への処理委託量	14.4
③熱回収認定業者への処理委託量	
④熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 紙くず)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類： 廃酸)



項目	実績値
①排出量	7.6
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	7.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	7.6
⑬熱回収業者への処理委託量	
⑭熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙② 産業廃棄物処理計画表

分類	種類	コード	2024年度 目標(t)	自らの再 生利用に 関する 事項	自らの再 処理に 関する 事項	自らの再 処理又は 搬送投入 処理に 関する 事項	産業廃棄物 の処理の 要する 事項	優良認定処 理業者へ の委託 量	再生利用業 者への処 理委託 量	認定熱回収 業者以外 の熱回収 処理委託 量	認定熱回収 業者以外 の熱回収 処理委託 量	建設廃棄物の主な具体例
安定型産業廃棄物	コンクリート塊	1501	500.0				500.0	500.0				コンクリート破片
	アスファルト・コンクリート塊	1502	15,000.0				15,000.0	10,000.0				アスファルト・コンクリート破片
	その他のがれき類	1500	100.0				100.0	50.0				ブロック破片、レンガ、モルタルくず、瓦くず
	石綿含有産業廃棄物	2440										石綿含有スレート板
	廃プラスチック類	0660	450.0				450.0	450.0				廃発泡スチロール等梱包材、廃ビニール、廃シート類、廃合成ゴム
	石綿含有産業廃棄物	2430										石綿含有ビニル床タイル
	金属くず	1200										鉄骨鉄筋くず、金属加工くず、足場パイプ、保安棚くず
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1300										ガラスくず、タイル衛生陶磁器くず、耐火レンガくず
	石綿含有産業廃棄物	2420										(注) 廃石膏ボードは管理型産業廃棄物
	建設混合廃棄物(安定型)	2000	15.0				15.0	15.0				石綿含有ケイ酸カルシウム板
	(安定型と管理型のコード番号は同じ。)	2410										発生段階から一体不可分の混合建設廃棄物で安定型産業廃棄物以外の廃棄物(木くず、紙くず、繊維くず、石膏ボード等)を含まないもの
	汚泥	2410										石綿含有の発生段階から一体不可分の混合建設廃棄物(安定型)含水率が嵩く粒子の微細な泥土の類削物
	安定型産業廃棄物以外の産業廃棄物	汚泥	0200	50.0				50.0	50.0			
木くず		0800	4.0				4.0	2.0				工作物の新築、改築又は除去に伴って生ずる木くず(具体的には型枠、足場材等、内装・建具工事等の残材、木造解体材等)
紙くず		0700										工作物の新築、改築又は除去に伴って生ずる紙くず(具体的には包材、段ボール、壁紙くず)
繊維くず (※天然繊維のみ)		0900										工作物の新築、改築又は除去に伴って生ずる天然繊維くず(具体的には藁、天然繊維系床ワニス、絹、ロープ類)
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		1300										廃石膏ボード
石綿含有産業廃棄物		2420										石綿含有廃石膏ボード
建設混合廃棄物(管理型)		2000	5.0				5.0	5.0				発生段階から一体不可分の混合建設廃棄物で安定型産業廃棄物以外の廃棄物(木くず、紙くず、繊維くず、石膏ボード等)を含むもの
(安定型と管理型のコード番号は同じ。)		2410										石綿含有の発生段階から一体不可分の混合建設廃棄物(管理型)
機え殻		0100										機え殻、焼却灰(基準を超える有害物質を含まないもの)
廃油		0300										防水アスファルト、アスファルト乳剤等の使用残さ
廃酸		0400										硫酸、塩酸、各種の有機酸類など、全ての酸性液体
廃アルカリ		0500										廃ソーダ液、金属せっけん液など、すべてのアルカリ性廃液
特別管理産業廃棄物		7421										吹付けアスベスト、石綿保温材(飛散性アスベスト廃棄物)
汚泥	7010										揮発油類、灯油類、軽油類(揮発性アスベスト以下)	
機え殻	7425										機え殻(基準を超える有害物質を含むもの)	
汚泥	7426										機え殻、焼却灰(基準を超える有害物質を含むもの)	
総合計			16,124.0	0.0	0.0	0.0	16,124.0	5,522.0	10,602.0	0.0	0.0	